

第 20 回議会報告会 報告書

地 域 名	南谷地域		
年 月 日	令和元年 10 月 23 日 (水)	会 場 名	南谷ふるさとセンター
開始時間	19 時 30 分	終了時間	21 時 08 分
参 加 数	男性 6 人	女性 1 人	合計 7 人
班 長	植村 和好	司 会 者	植村 和好
報 告 者	全員	書 記	西田 雄一
班 員 名	植村 和好、西田 雄一、荒田 幹夫、西谷 昭徳		
	市 民	対 応	
報告に対する主な質疑	① 八鹿病院の経営状況悪化での赤字（損失）補填はどうされているのか。	① 赤字（損失）補填はこれまでの八鹿病院の留保金で補填している。留保金も毎年の取崩しで減少して平成 30 年度末残高は約 20 億円あまりである。	
	② 八鹿病院の経営が悪いのは何が原因なのか。病院管理者との懇談でも原因はやはり医師不足と話されていた。経営管理も厳しくする必要があるのではないか。 「医師不足のため、医院への紹介状も出します」との表示があったが、我々は八鹿病院が大切な医療機関でなくなっては困る病院である。	② 医師不足で専門の常勤医が少ない。八鹿病院は医学生には奨学金制度を設けているが、指導医の確保が課題である。	
	③ 養父市は農業特区の指定を受け注目度も高いが、我々南谷の現実が高齢化によって耕作できない圃場が年々増えている。耕作されている方へ耕作依頼するが、年々受けてもらえなくなってきている。農業特区指定によって補助金が出ることもなく、法人企業も来ない。特区活用での解決方法はないのか。後継者不足で将来が本当に心配である。	③ この地域だけでなく、他地域でも作り手不足で悩んでいる。その中で、集落で営農組合を立ち上げ、まとめて耕作管理されている地域もある。それでも組合員は高齢であり、次世代に引継ぐよう若い世代にも呼びかけをしている。	

市 民	対 応
<p>④ 文化会館建設でなぜ広大な面積の用地を取得したのか。グンゼ(株)との交渉ができなかったのか。お金がないと言っている市は必要な面積の用地で良いのではないかと疑問が残っている。ピバホールの照明修理の件も報告されたが、将来をみた維持管理も考えるべきではないか。</p>	<p>④ グンゼ(株)との売買取引で部分取引でなく、全体での話になったと聞いている。購入した土地は、将来に向けて他にも活用できる敷地としていく。公共施設の建物、設備は対応年数もあり特に設備機器等は、更新計画をたて管理していくと思う。</p>
<p>意見交換会での主な質疑</p> <p>・現在朝来市と広域連携して消防、ごみ処理等を管理しているが朝来市と合併の方向性はないのか。</p>	<p>・合併は、今現在全く考えていない。</p>
<p>その他(提言など)</p> <p>① 議員定数と報酬について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少でも議員の活動は変わらない増える要素もある。 ・全国的に成り手不足と承知している。若い世代にとって魅力があるものとする観点からそれなりの報酬も必要である。なり手不足にならない条件が必要、モチベーションが下がらないように。 ・すぐに定数削減をする必要はないのではないか。 <p>② 養父市がとにかく「住みやすいまち」であってほしい。</p>	
<p>備考 なし</p>	

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和元年11月5日

報告者 3班 班長 植村 和好

